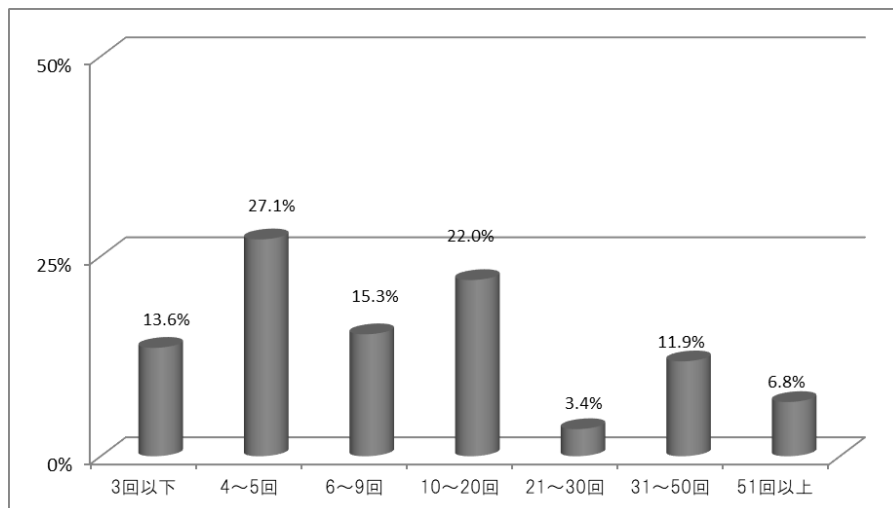


Ⅲ. 調査結果

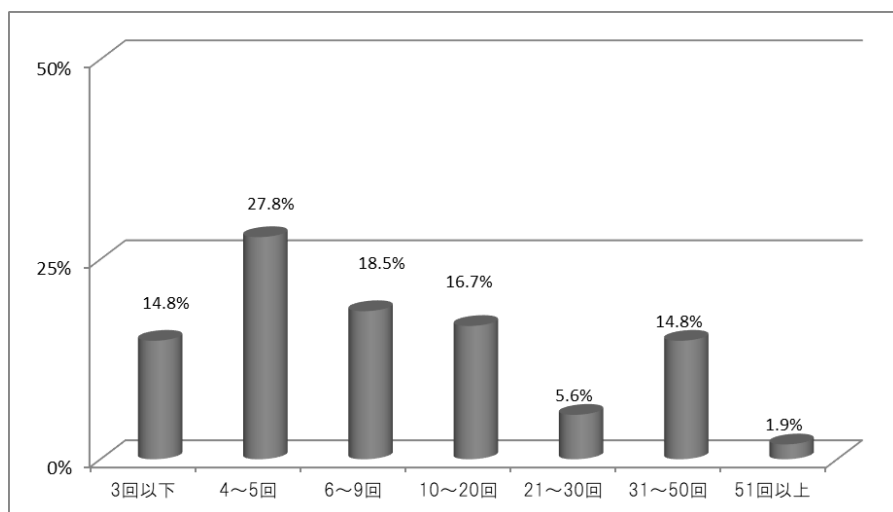
1. 坂折棚田への来訪経験回数 N=241

- 通算回数でもオーナーとしての回数でも、最も多いのは「4～5回」だが、分布には大きなバラつきがある
- 3回以下の人も10%強いれば、30回を越える人も通算では19%、オーナーとしてでも17%いる
- 平均回数は通算では18.1回、オーナーとしてでは12.4回。通算で100回、オーナーとして80回という人もいる

1) 通算来訪回数 N=59



2) オーナーとしての回数 N=54

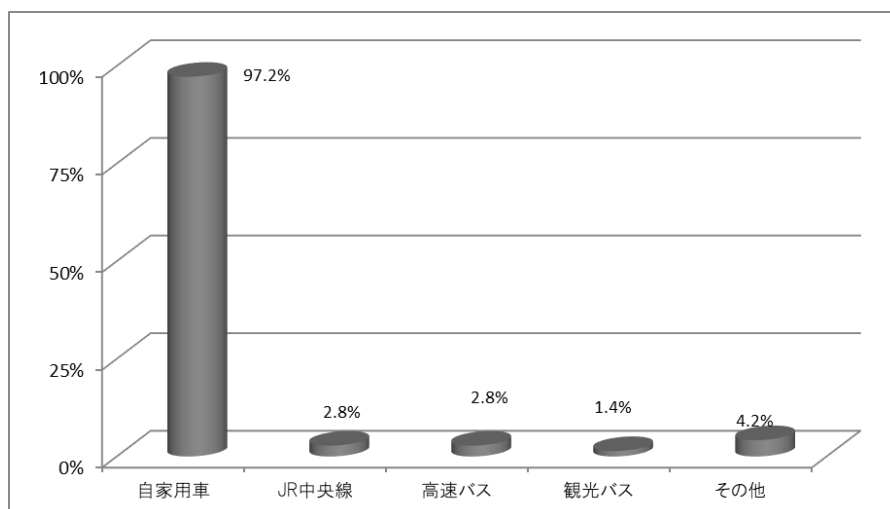


<最大・最小と平均回数>

	最大	最小	平均	(回)
通算で	100	1	18.1	
オーナーとして	80	1	12.4	

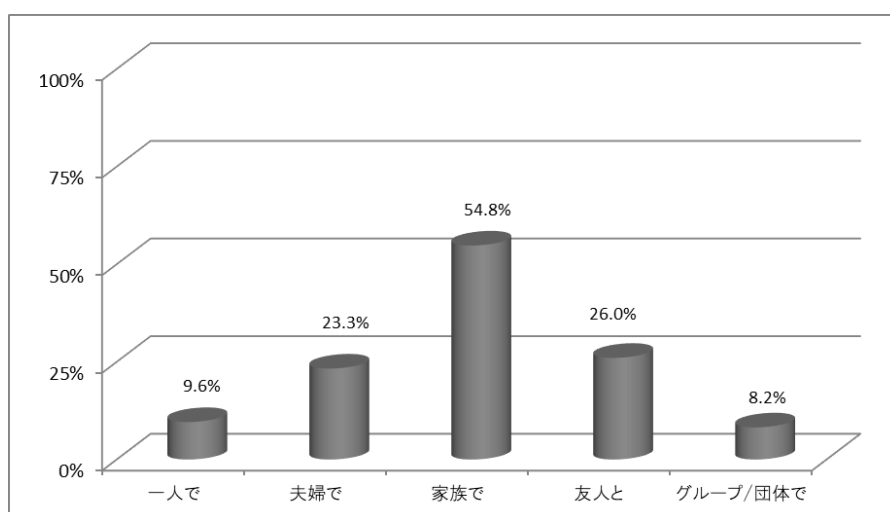
2. 来訪時の交通手段（複数回答） N=72

- 自家用車での来訪が圧倒的に多い。自家用車での来訪経験がないのは、遠隔地居住者だけ
- 「その他」は、路線バスとバイク



3. 来訪時の同行者（複数回答） N=73

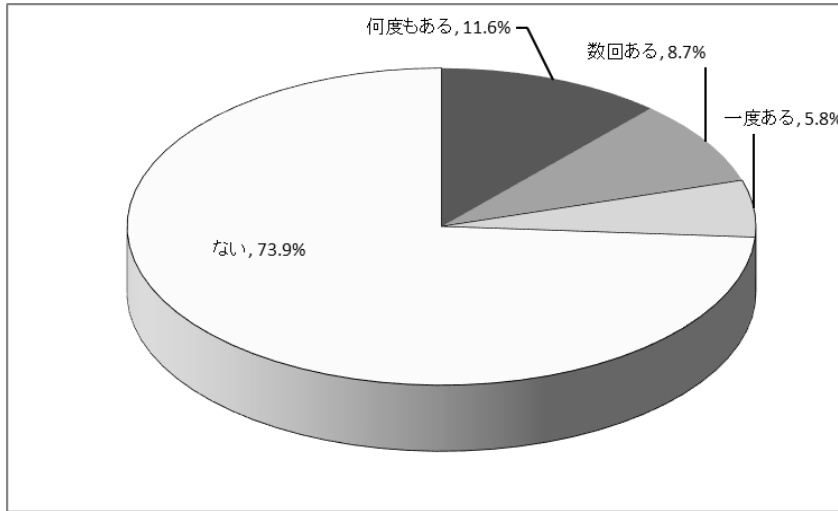
- 半数強は「家族で」の来訪経験がある。「夫婦で」と「友人と」の来訪も各々1/4前後ある
- 単身やグループ/団体での来訪は1割に充たない



4. 来訪時の宿泊経験（周辺部含む）

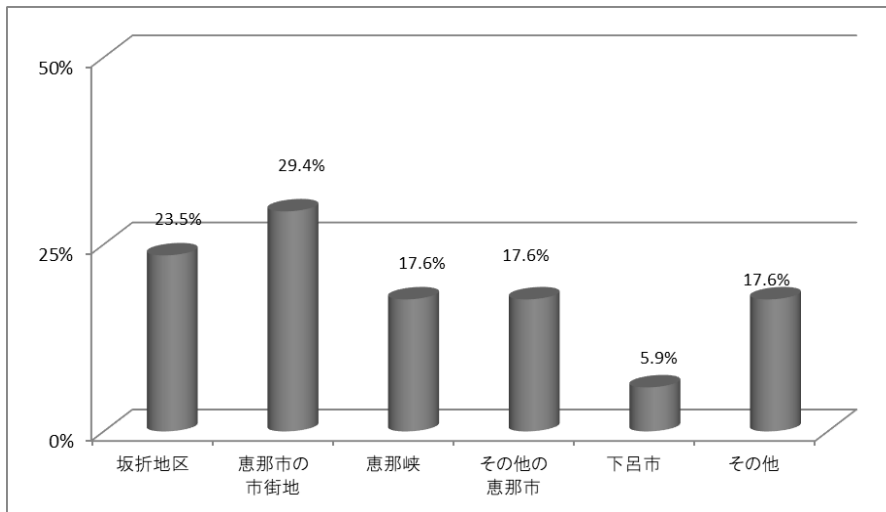
1) 経験有無 N=69

- 来訪の際に当地または移動経路上で宿泊をした経験がある人は、全体の1/4の26%
- 20%の人は複数回の宿泊経験がある



2) 宿泊地（複数回答）N=17 *回答は宿泊経験者のみ

- 宿泊地はほぼすべてが恵那市内、坂折地区での宿泊経験がある人も4件（24%）ある。恵那市外への宿泊は、下呂市の1件（6%）だけ

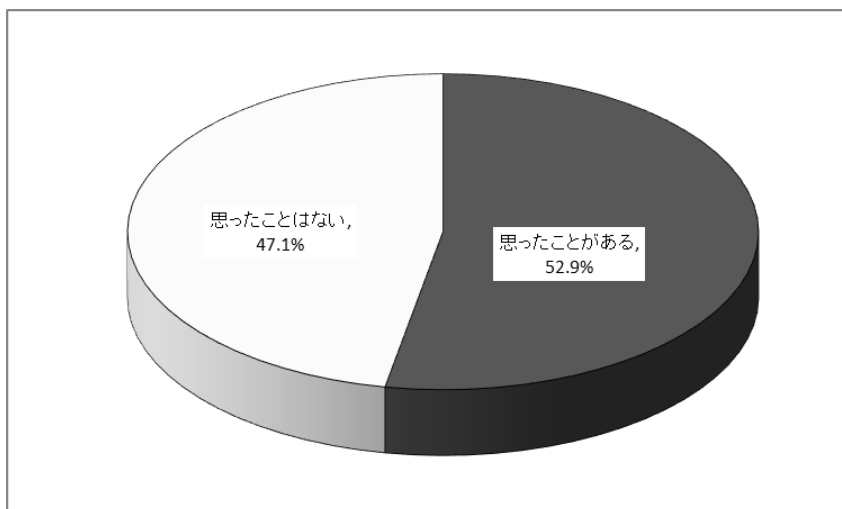


<その他の内容>

グリーンピア恵那
茅の宿
知人宅
実家 恵那市内)

5. 坂折地区周辺への宿泊意向 N=68 ※坂折棚田来訪時に周辺に宿泊したい（してみたい）と思ったことがあるか

- これまでに坂折地区周辺（棚田に近いところ）に「泊まりたい泊まってみたい」と思ったことがあるのは半数強
- 「思ったことがある」人の理由を見ると、豊かな自然や美しい景観、きれいな空気のある環境を楽しみたい、棚田の朝や夜を楽しみたい、また作業後に同行者や地元の人と飲酒やコミュニケーションしたいなど
- 一方、「思ったことはない」人の理由は、距離と時間の「近さ」のために、泊まる必然性がないということ。「（近いので）考えたこともなかった」が、今後は（農泊が始まれば）考えても良いという人もいる



【意向理由】*自由回答

【思ったことがある】

朝の棚田を撮影したい
朝の風景を知りたい
移動が大変（熊本在住）なので
田舎でゆっくり過ごしたい
穏やかな環境
気持ちの良い環境で、のんびりと時間を過ごしたい
空気が良い
景色がきれい
景色がきれいで心が落ち着くので
下呂や高山方面に行く途中に寄っても良いと思うので
子供がいるので、キャンプで泊まりたい
この気持ちの良い自然の中で、ゆったりした時間を過ごしてみたい
今回来て（2回目の来訪）で宿泊したいと思った
作業後に飲酒したり、同行の友人と会話するために近くで宿を探したことがある
作業の後に（酒を）飲みたいと思った
自然があり、のんびりできる
自然が豊かなので、ゆっくりと楽しんでみたい。近くの温泉に行ったり、この土地の美味しいものを食べてみたい
自然環境と地元の人たちとの触れ合い、食の楽しみ
自然に囲まれていて良い（ところだ）から
自然の美しさ。地域の方のほのぼのとした雰囲気
早朝の集会があるときに、近くの温泉に素泊まりで前泊したいと思った

【思ったことがある】 * 続き

棚田が見える場所で泊まりたい
棚田の周辺に行けない（日帰りだと時間的に？）
棚田を見ながらお酒を飲みたい。自分には田舎がないので、そういう気分になってみたい
定年後には田舎暮らしを予定しているため
テントを張ってキャンプをしたい
都会とは違う静かで景色の良い場所で、心が落ち着く。のんびり過ごしたい
農泊ができる日が楽しみ
風景と温かな人柄、懐かしい食べ物
ホテル観賞などの散策ができれば良い

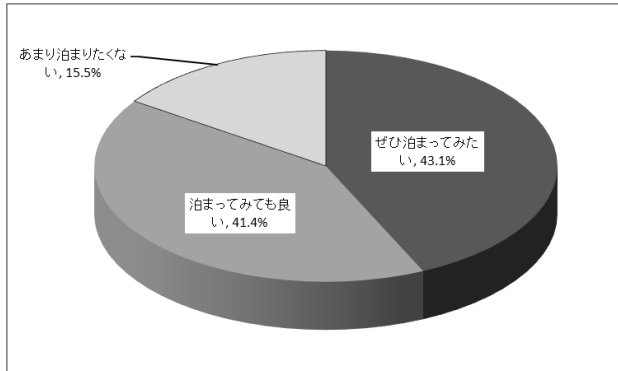
【思ったことはない】

家から1時間くらいだし、泊ってまで来るところかと思う
家から車で1時間くらいなので
家(自宅) から近いから/近いから/近いので (9)
家から近いので、泊る必要がない
考えことがなかった。これから何かあれば検討したい
自宅からそれほど遠くないので
自宅から近い。今はどこに宿泊すればよいのか分からない。安ければ泊まってみたい
自宅から近いし、2日間も滞在する理由がない
自宅から日帰りが可能なので
自宅は多治見市。片道1時間なので、宿泊までは考えていない
宿泊しても、（その後に）巡るところがあまりない、あるいは知らない。長野付近のように、星がきれいに見えるなどのことがあれば興味も湧く
宿泊するほど遠くないので
近くに（個人的に？）宿泊できる場所があるから (3)
日帰りで来られるから
休みが土日だけなので、宿泊までは・・・

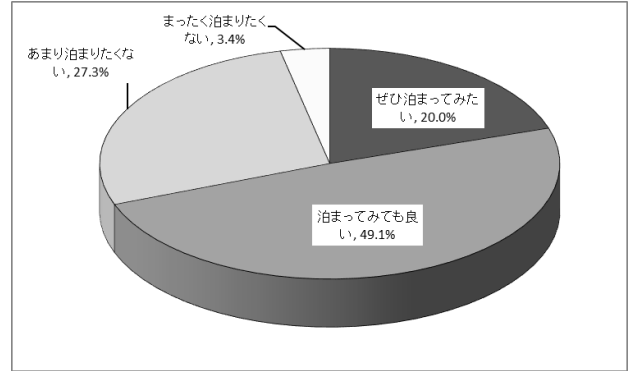
6. 「農泊」事業で想定される宿泊施設/サービスの利用意向

- いずれの形態についても、宿泊意向率（ぜひ泊まってみたい+泊まっていても良い）は高い
- 最も意向率が高いのは「周辺地区での宿泊割引」の89%、次いで「なごみの家」の85%、「古民家一棟貸し」84%。
「古民家一棟貸し」では「ぜひ泊まってみたい」が43%と高いのも注目される
- 「農家民宿」も意向率75%と高水準だが、「農家への民泊」は69%と他の4形態に比べるとやや低め

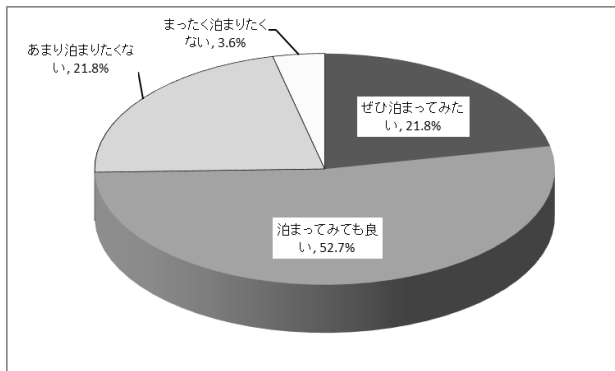
1) 古民家の一棟貸し N=58



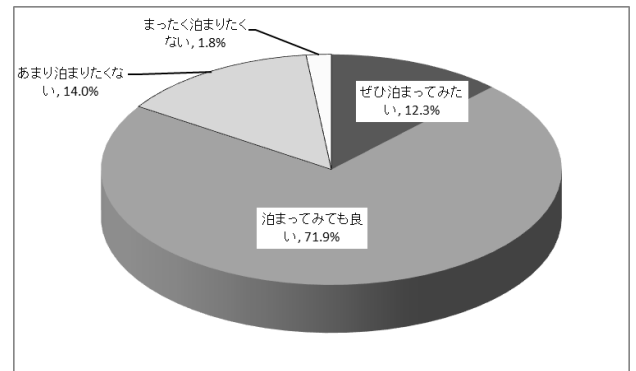
2) 農家への民泊 N=55



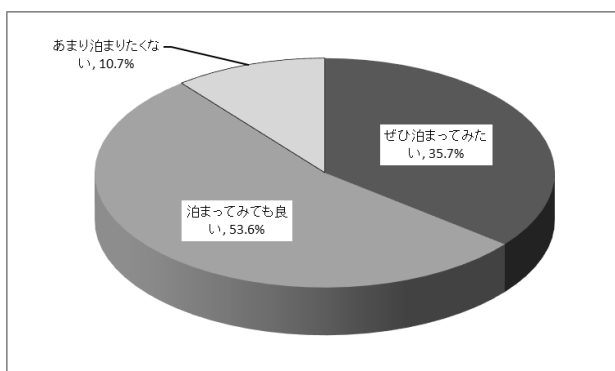
3) 農家民宿 N=55



4) なごみの家（簡易宿泊施設） N=57

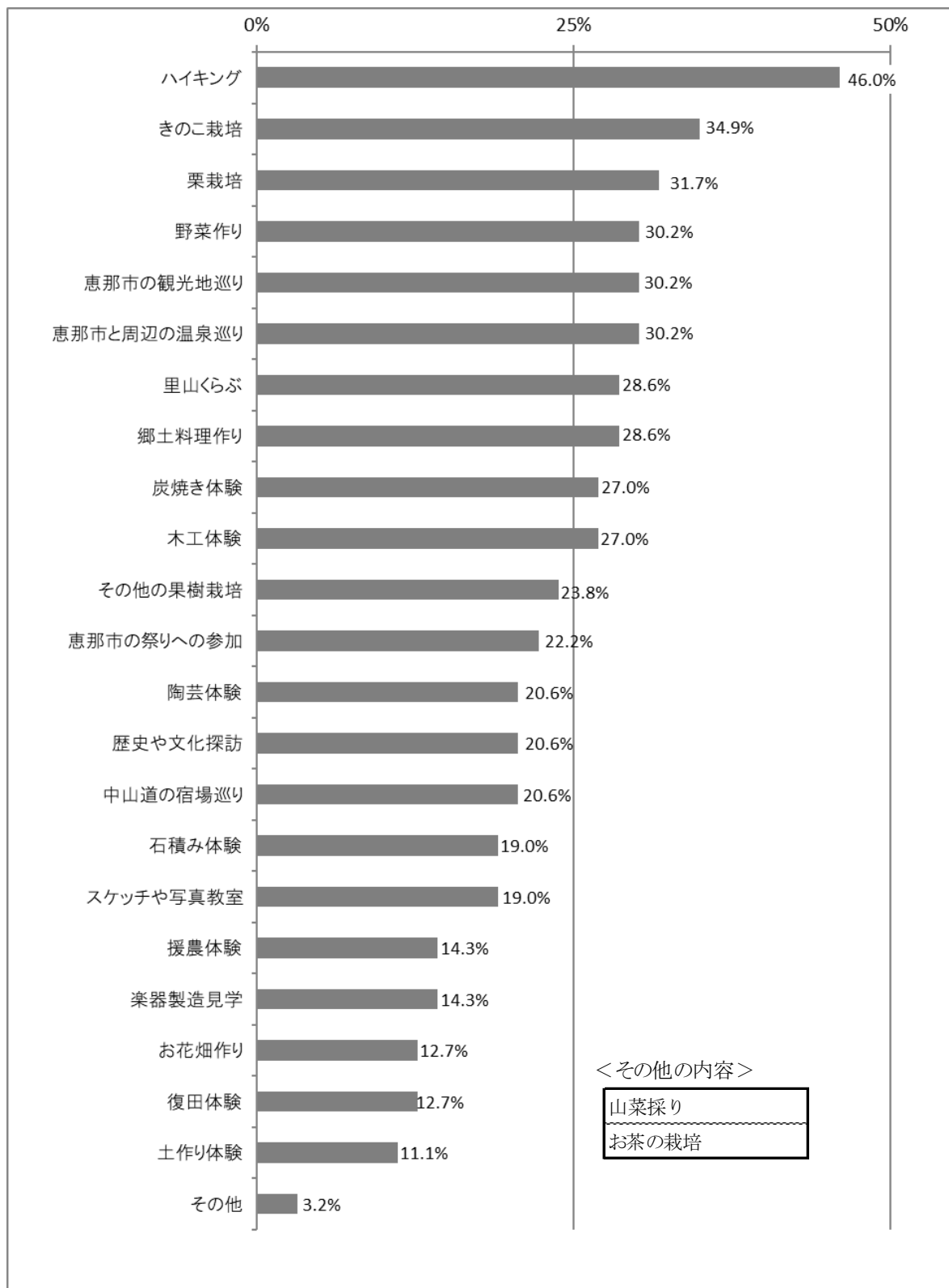


5) 周辺地区での宿泊割引（棚田オーナー向け） N=56



7. 参加してみたい/農泊者に勧めたい体験プログラム（複数回答） N=53

- ▶ ハイキング（笠置山、権現山、黒瀬街道、水源の森など）が46%と際だって高い
- ▶ 次いで、「きのこ栽培」、「栗栽培」、「野菜作り」などの農業体験と「恵那市の観光地巡り」、「恵那市と周辺の温泉巡り」の観光プログラムが続く
- ▶ 「その他」を除く22プログラムのすべてが10%を越え、15プログラムが20%を、6プログラムは30%を越えている。いずれのプログラムにも、一定程度の興味喚起力があることが分かる。上述したように、棚田オーナーの当地への来訪経験回数は多くても、そのほとんどが日帰りのため、当地での体験が「棚田」に限られていたことの反映だろう



8. 坂折棚田/恵那市来訪時の食事環境への不満、食事に関わる感想や意見（自由回答）

- 「食事」に関して顕在的な、あるいは大きな不満があるわけではない。これまでは大部分が日帰り来訪であり、その際には食事が提供されたため、地区内や周辺で食事をする（求める）必要はなく、当地の「食」に感想や意見を持つ機会もほとんどなかったようだ
- しかし【希望/提案】の記述を見ると、当地の郷土料理や行事食への関心や体験欲求もあることが分かる。宿泊を伴う来訪機会が多くなれば、この関心、欲求がさらに強まるのは確実だろう

【肯定的】

いつも心のもった美味しい食事を食べさせてもらえて嬉しい
いつも棚田弁当を食べている。美味しいので満足している
いつもとても美味しくいただいている
飲食施設を探したことがない。弁当がいつも美味しい
飲食店があまりないと思ったが、そこがまた良いところでもある。良い意味での田舎の雰囲気が味わえるので
食事がとても美味しく、毎回楽しみ。味付けがちょうど良いし、地元の食材が美味しい
食事は本当に美味しくて良い
棚田の弁当、田舎汁はいつも大変美味しく食べている
特に不満はない。美味しい
とても良かった
野菜がいっぱい入っていて、とても美味しかった。肉のおかずを出してほしい
用意してもらえる弁当が、いつもヘルシーで、とても美味しい。不動滝やお蕎麦屋さん、ペンペン草などを何度か利用したが、とても美味しいし、皆さんの人柄や雰囲気がとても和やか。居心地の良いステキな場所で親近感を持っている。こんな店が増えるとうれしい

【希望/提案】

田舎料理をたっぷり食べたい。バーベキュー施設は清潔で良かった
お店を教えてください。美味しい蕎麦屋、土産物店、美味しい菓子店、新鮮で安い野菜の販売所、美味しく食事ができる店
郷土料理、ここでしか食べられない料理を食べたい
この土地にしかない特別な食事を。準備段階から一緒に作りたい。例えばおとぎ料理、節分やお雛様、夏祭り、正月料理など
坂折棚田の近くで食事できる場所があれば良いと思う
食事したことがないので分からないが、簡易的で良いのでキャンプ場（屋外公園で可）があると何かできる
地域の産物を使った郷土料理や特産物
不便が良いのではないかな。それを売りにする。便利を求めたら都会には負ける
不便なことがプラスになるように企画するのが良いと思う。都市の縮小版では「農泊」や農業体験の意味が薄れるのではないかな
山の食べ物は地味な印象がある。ただ食べ物を提供するだけでなく、今の時代に合わせたコンセプト（フードマイレージ、地産地消、フェアトレードなどのキーワードを意識すること）が必要と感じる
棚田のお米は本当に美味しいので、その米を食べられる場所があると良いかも（お釜で炊くご飯とか）。産直がもっと充実すると良い。季節ごとにマルシェを開催するのも良いかも

【否定/批判的】

「この土地に来たらコレ！」というイメージが湧かない
飲食施設は意外に多いが、不定期な営業が多く、要予約ばかり。気軽に行ける仕組が整えば良い。不定期営業でも、やり方はあると思う
飲食店が少ない。恵那駅前が寂れている
食事する場所がない
棚田汁が有料になった。初めの頃はお替わりができたのに。不動滝で食べる方が、量が多くてお得！！
店が少なく、選択肢がないので、選ぶ楽しみがない。今は食事は目的ではないので期待もしていないが、今後泊まるとなると、コストパフォーマンスも含めて気になる
レストランは多くないイメージ

9. 「農泊」事業に対する意見や提案（自由回答）

- 食事を含めた当地ならではの体験、また「泊まる」動機付けとなるだけの棚田以外の「魅力」や「工夫」、「仕掛け」が必要との指摘が目立ち、そのためのアイデアの提案もある
- 地元の人々との交流を求める声、恵那市内と周辺の観光地、観光施設との連携の必要性の指摘もある

インターネットでPRしてみたらどうか
恵那市内や周辺観光地、コミュニティとの連携が取れると良い。農業を地域の文化ととらえ、観光資源として活用できると面白い。資源の発掘を今一度行ってみたいところから始めると良い
恵那には温泉施設やホテルが多くあるが、連携ができていないし、交通手段も未整備。杉原記念館や五毛座など多くの素晴らしい施設があるのだからうまく連携すれば外国からの人も含めて楽しめると思う
親子（母子）で楽しめるプログラムを増やしていくべきではないか。人が優しい恵那のイメージを前面に出していくことが必要だと思う。昔は当たり前だったが、今はなくなってしまい、未来に伝えていくべき慣習とか。例えば、お嫁さん修行のプログラムとか
古民家を改修した施設で地元料理を食べさせてほしい。富田の「茅の宿」を見本にしてはどうか
坂折棚田のコンセプトを考えて物販商品を開発し、都市で開催される展示会に出品すると良い
作業だけではなく、地元の方との交流を深められる企画があると良い
地元の人と交流できると楽しい。料理を教えてもらったり、一緒にお酒を飲んだりして交流することに意味があると思う
宿泊（させる）となると、泊まりで来るだけの魅力が必要。コストはもちろん、食事や風呂が大事。家族、小さな子供連れなら、1日目は農作業等の体験＋宿泊先でのんびりとお風呂と食事、2日目は周辺の自由観光、虫取り、川遊び、魚釣り、星空観察などがあると行ってみたい気になる
宿泊施設には、トイレ、洗面所、風呂場の清潔さが特に必要。食事はぜいたくなものでなく、地元でとれた新鮮なもの中心で
15年くらい前に奥伊吹の甲津原で何度か宿泊体験した。農業体験や餅つき、たくさんのお土産など、体験内容が濃くて魅力的だった。子供が大きくなって行かなくなったが、今でもDMが来る。ぜひ参考にしてほしい
情報提供の場
食事会や忘年会等の際に時間をとって、主催者と話ができる機会があっても良い
体験で作った物をお土産として持ち帰れたら良い。思い出になるし、他の人に勧めたり、話したりしやすい
体験や美味しい食事を提供することを通じて、棚田保全の必要性の理解を深めてもらうようにする
棚田以外の農作業の体験。棚田からの夕陽鑑賞会。農作物の安価な販売
トイレが気になった
何か病み付きになる仕掛けができると良い
（都市居住者は）日常の環境が便利なので、（当地のように）極端に不便だと疲れてしまうと思う
ネットを通じて棚田の良さをもっとPRする。移住してきた方が感じている棚田の素晴らしさを、生の声で広くアピールできる機会を設ければ、人の心を動かせると思う
平日が休みの仕事なので、平日でも楽しめるようにしてほしい。田舎料理をたっぷり食べたい。料金が安ければ色々な体験をしたい
まずは、近場から訪れるオーナーに、わざわざ泊まりたいと思わせる工夫が必要ではないか。例えば夕刻からのホタル観賞や早朝に行く自然との触れ合いなど
まずは実績が必要（特に安全面）。そのために農泊の意思がある人に体験してもらい、写真や意見をSNSでアップする。キャンプ感覚で参加できるようにする（若者、女性向け）。食材の準備、作り方をレクチャーして自分たちで作ってもらう

※意見/提案続き

もっと坂折棚田の存在を知ってもらうことが必要。ホームページ、Facebook、ブログなどを活用し、体験談や地元の人との交流などをオーナーから発信してもらう。来訪者が多くなった場合、地元の方のプライバシーをどのように守るかも考えていく必要がある

もっと楽しい情報発信ができたらと思う。情報が全然来ない

もっとメディアでPRしたら良いと思う。恵那と言えば栗さんとか「銀の森」、恵那峡が思い浮かぶが、これらと一体となってPRしたらもっと広まるのではないかな

野菜などを自分たちで収穫して自分で料理などが作れると良いのでは。食育（にもなる）

ゆるりとのんびりしているのが、この棚田の皆さんの良さでもあると思う。あまり事務的にきちっとなり過ぎない方が良いと思う

夜のイベント（星の観察など）があると宿泊することができる。地元の子供たちとの交流があると良い。ミニキャンプの実施（子供のみでの体験）

料理教室を作る